



新生しばた記念事業
～新たなる100年にむけて～

写真の町シバタ 2016

2016年10月1日(土)→31日(月) 新潟県新発田市各所

主催＝写真の町シバタ・プロジェクト実行委員会 共催＝敬和学園大学／新発田市歩く旅のまちづくり推進協議会 協力＝写真文化首都 北海道「写真の町」東川町

助成＝Asahi 株式会社／EJ・ジャパンフェスト日本委員会 協賛＝株式会社博進堂／泉観光バス株式会社／竹内旅館／谷澤門／空運坊

特別協賛＝Asahi 株式会社 後援＝新発田市／一般社団法人新発田市観光協会／オーストリア大使館 | オーストリア文化フォーラム



オーストリア文化フォーラム

facebook.com/shibata.photo
Twitter: @photo_shibata

まちの記憶

10.1(土)-31(月)

新発田市商店地区・市内各所

まちに残る写真をポスターにして、提供先で展示。まちの駅よろず(新発田学研究センター)では集合展を開催。
▶まちの駅よろず(新発田学研究センター・大栄町1-1-1)
10:00-18:00 水日祝定休 入場無料

アンドリュー・フェルプス写真展 10.8(土)

非・新潟

-30(日)

European Eyes on Japan / Japan Today vol.11
金升酒造座敷ギャラリー(豊町1-9-30)

土日祝のみオープン/10:00-16:00 入場無料
●初日14:00開場



アンドリュー・フェルプス Andrew Phelps
1967年アメリカ・アリゾナ州生まれ。1990年よりオーストラリア・ザルツブルク在住。2000年オーストラリア文化庁・写真賞受賞。
andrew-phelps.com

ゲスト・キュレーター/菊田樹子
協力=写真文化首都 北海道「写真の町」東川町
助成=EU・ジャパンフェスト日本委員会
後援=オーストラリア大使館/オーストラリア文化フォーラム

ピーター・ロック写真展 10.8(土)-23(日)

THE ROCK AND THE SEA

金升酒造一號蔵ギャラリー(豊町1-9-30)

金土日祝のみオープン 金/18:00-21:00
土日祝/10:00-16:00 入場無料 ●初日14:00開場



ピーター・ロック Peter Locke
1961年アメリカ・カリフォルニア州生まれ。サンフランシスコ在住。コマーシャル・アートと同時に、写真等の分野において作家としての制作に取り組んでいる。
peterlocke.pl

企画展合同 オープニング・イベント 10.8(土)

金升酒造 参加無料

14:30-15:30 対談|梶井照陰(佐渡在住写真家)を迎えて
15:30-16:00 開会式
16:30-17:00 ピーター・ロックによるギャラリー・トーク
16:30-17:00 アンドリュー・フェルプスによるギャラリー・トーク
17:00-18:00 懇親会 at 金升蔵カフェ(乾杯ドリンクサービス/追加のご注文は蔵カフェをご利用ください)

- 2次会は懇親会会場でご案内します。
- 個別プログラムのみ参加も歓迎です。
- 写真家のトークには日本語通訳がります。

私の逸品

10.1(土)-31(月)

こころの写真展

市島酒造 御茶処いちしま(諏訪町3-1-17)

11:00-16:30 木祝定休
会期中日曜は喫茶のみ営業/10:00-16:30
●喫茶ご利用の方は展示をご覧ください

新発田の逸品をまちに飾る『私の逸品展』に触発され、その写真版として『写真の町シバタ』が誕生。『逸品展』を生んだ市島酒造の御茶処を会場に、原点回帰の写真展。

#batagram展 10.1(土)-30(日)

gallery & shop 街屋こんぼす(大栄町7-1-9)

12:00-19:00 月~水定休 入場無料
●10月9日(日)休・10日(月祝)オープン

#batagram = 「新発田」×「Instagram」。
Instagramのハッシュタグ #batagram に投稿された(現在のシバタ)の写真展。

敬和学園大学オープンカレッジ 10.20(木)

まちの記憶

まちの駅よろず(新発田学研究センター・大栄町1-1-1)

18:00-20:00 参加料/500円(要予約)
講師/原由美(写真の町シバタ実行委員)
問合・申込=敬和学園大学広報入試課(Tel. 0254-26-3625)

写真の町シバタ「まちの記憶」の魅力と見所を解説。敬和学園大学「地域学入門」の授業で学生たちが取材制作した『あたらしいまちの記憶』の成果も紹介。

関連企画

音と写真とお料理の

ミニLIVE vol.2

TAICOや(中央町1-2-1)

開場/17:00 参加料/1,500円(お料理+ドリンク付)
お食事タイム/17:00-18:30 LIVE/18:00-20:00

音楽/橙 ~ daidai ~ & ayane 他
写真/写真の町シバタ+ Gallery 3 + 4 Creative
料理/TAICOや
申込=TAICOや (Tel. 0254-26-6269)

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016 10.19(水)

福島写真美術館プロジェクト -11.4(金)

成果展 + プラス 新発田

金升酒造二號蔵ギャラリー(豊町1-9-30)

平日/13:00-17:00 土日祝/10:00-17:00 入場無料

震災・原発事故後の「福島の今」を捉え、留めた写真家・作家たちの制作の成果展を新発田で開催。
参加作家/高杉記子・片桐功敦・安田佐智樹・本郷毅史・赤阪友昭・赤間正昭・岩根愛・土田ヒロミ・村越としや

トーク・セッション 10.18(火)・26(水)・11.2(水)

金升酒造蔵カフェ 聴講無料 定員/30名

〈オープニング・イベント〉

▷セッション1 10月18日(火)18:00-19:30

「写真家の見た福島」片桐功敦×本郷毅史

レンズを通して見た福島を、作品制作時のエピソードを交えて参加作家が語る。写真・映像表現の可能性についての考察も。
講師/片桐功敦(華道家)・本郷毅史(写真家)

▷セッション2 10月26日(水)19:00-20:30

「写真の力と土地の記憶」飯沢耕太郎×村越としや

写真について幅広い知見を持つ飯沢耕太郎氏が、福島以後の写真表現の特徴と動向を解説。後半は福島県須賀川市の故郷を振り返っている写真家、村越としや氏も参加。
講師/飯沢耕太郎(写真評論家)・村越としや(写真家)

▷セッション3 11月2日(水)19:00-20:30

「写真と記憶 シバタ・フクシマ」港千尋×原由美

写真家であり、評論から芸術祭総監督まで幅広い領域を横断してアートに関わる港千尋氏と、写真の町シバタ実行委員の原由美とともに、写真が記録し喚起する地域の記憶とイメージについて語る。
講師/港千尋(写真家・著述家・あいづリエンナーレ2016総監督)・原由美(新発田市生まれ、写真の町シバタ実行委員)

ギャラリー・トーク

11.3(木祝)

11:00-12:00/15:00-17:00 参加無料・申込不要
金升二號蔵ギャラリー

展示作品について、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト・スタッフが解説。

講師/川延安直(福島県立博物館専門学芸員)
小林めぐみ(福島県立博物館主任学芸員)
主催=はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会
hamanakaaiju.jp

■同時開催・新発田のイベント

新発田アール・ブリュット2016 10.1(土)-5(水)

長徳寺(大栄町2-7-22)

10:00-17:00 ●最終日は12:00まで

垣根を越えた芸術文化が新発田に根ざすことを願って『モノ、ガタル、タネ』と題し、市内外の作家の作品を展示。

アール・ブリュットでまちづくり~あらたなまちづくりへの挑戦~

13:30-16:30 参加無料 ●9月26日(月)までに要予約

新発田市生涯学習センター 多目的ホール(中央町5-8-47)
申込=のぞみ工房/担当者・保田(Tel. 0254-23-1821)

▷基調講演

「アール・ブリュットの魅力とは~障害のある人の作品から新しい価値の創造へ~」

講師/井上多枝子(NPO法人ははたりくもったりアートディレクター)

▷シンポジウム

「アール・ブリュットでまちづくり~あらたなまちづくりへの挑戦~」

シンポジスト/迫一成(ヒココリスリトラバーズ 代表)

保田健太郎(のぞみの家福祉会のぞみ工房 主任)

原由美(写真の町シバタ実行委員)

助言者/井上多枝子(NPO法人ははたりくもったりアートディレクター)

コーディネーター/趙昭衍(敬和学園大学人文部共生社会学科教授)

主催=社会福祉法人のぞみの家福祉会

問合=のぞみ工房/担当者・保田(Tel. 0254-23-1821)

金升映像展覧会 勅使河原一雅 10.1(土)

金升酒造二號蔵ギャラリー(豊町1-9-30) -16(日)

金土日のみオープン 入場無料

金曜/18:00-21:00 土曜/10:00-21:00

日曜/10:00-16:00 ●1日はオープニング・イベント

歴史ある酒蔵で、金升のお酒を呑みながら映像作品を鑑賞できる展覧会シリーズ第1回。映像作家は勅使河原一雅。

オープニング特別企画 音と映像のコンサート

映像/勅使河原一雅 音楽/石田多朗

企画・演出/岸本智也 10.1(土)

金升酒造二號蔵ギャラリー(豊町1-9-30)

開場/18:00 開始/19:30 入場料/2,500円(ドリンク付)

申込=「お名前、電話番号、人数」を明記の上、E-mail:

kanemasu.eizo@gmail.com宛にメールを、先着50名。

勅使河原一雅/映像作家。国内外での美術展への出品をはじめ、ASA-CHANG & 巡礼「告白」のMV、「まほう」アートワークの制作も担当。qubibi.org 石田多朗/作曲家。音楽制作の他、「谷中音楽堂」を主宰、勅使河原一雅とのユニット「世界」でも活動。

岸本智也/新発田市出身。プロジェクション・ディレクター。本展覧会の企画、プロジェクション演出を担当。

Web: facebook.com/kanemasu.eizo

問合=E-mail: kanemasu.eizo@gmail.com

Berrys Flower × Earth Flower 10.1(土)-31(月)

Early Merry Christmas

MAISON DE Marucho IFギャラリー(大手町1-2-18)

10:00-17:00 水日定休

ひと足早いクリスマスをテーマにしたお花の作品展。

作家在廊時ワークショップ開催

10月6日(木)・10日(月祝)・21日(金)・25日(火)・31日(月)・

毎週土曜。レコード鑑賞会 & バンデイロ・パーティーあり。(詳細はギャラリーまで)

問合=MAISON DE Marucho (Tel. 0254-22-2535)

■アクセス

■新潟県内から

□JRをご利用の場合/新潟駅より自新線・羽越本線下りにて新発田駅下車。約35分。

□車でのお越しの場合/新潟中央JCTより日本海東北道を北上、

聖籠新発田IC降り、国道7号経由にて新発田市街地区。約30分。

■東京から

□JR新幹線利用日帰りモデルケース

▷往路/東京駅(9:12発)→新潟駅(10:49着)→特急乗換(自新線10:58発)→新発田駅(11:18着)最短所要時間は2時間6分。

●新幹線と特急の乗継時間含む

◁復路/新発田駅(20:57発)→新潟駅(21:22着)→上越新幹線乗換(21:34発)→東京駅着(23:40着)

□車でのお越しの場合/練馬ICより関越自動車道にて新潟中央

JCTまで約45分。日本海東北自動車道にて聖籠新発田

ICまで約30分。

□東京⇄新発田をリーズナブルに結ぶ高速バス

泉観光バス株式会社/高速バス予約専用(Tel. 025-279-5555)

▷往路/池袋サンシャイン(24:10発)→バスタ新橋(24:40着)→

新発田駅(6:50着)

◁復路/新発田駅(23:30発)→バスタ新橋(6:10着)

写真の町シバタ・プロジェクト実行委員会

〒957-0056 新潟県新発田市大栄町1-1-1 新発田学研究センター内

Web: photo-shibata.jp Mail: info@photo-shibata.jp